

加美町のシンボル「薬菜山」の麓で栽培されている薬用植物「ムラサキ」。その根は「紫根」と呼ばれ、紫根の持つ皮膚の機能回復を促す効果を持つとされる。この効用に着目し、(株)畑惣商店が地元で人気の「坊っちゃん石鹸」とのコラボレーションで「紫根石鹸」を販売している。古くから軟膏原料として親しまれてきた紫根の力を活かしたこの石鹸は、肌トラブルに悩む人々にとって新たな選択肢となりそうだ。

アルコール入りの製品による肌トラブルで長年苦勞してきたという利用者は、顔の赤みやかゆみ、ひりつきが悪化し、皮膚科医から刺激の少ない固形石鹸での洗顔を指示されたという。この石鹸を試したところ、ワセリンでの保湿と飲み薬治療との併用により、数か月で症状が大幅に改善した。強い香りや刺激もなく、安心して使用できた。泡立ちの良さや、洗顔後のつっぱり感・ぬるつきの無さから心地よい使用感になっていると高く評価されている。

石鹸は町のふるさと納税の返礼品となっており、紫根を使用した化粧品や染物などが続々と商品化されている。

ムラサキの花



ムラサキを使用した商品



【記事提供】 加美町農業委員会